

類別：機械器具 21 内臓機能検査用器具
管理医療機器 一般の名称：体成分分析装置 (36022020)

エー・アンド・デイ体組成計 AD-6552-MC-780

【禁忌・禁止】

＜併用医療機器＞

下記のような医用電子機器と同時に使用しないこと。[本機は体内に微弱な電流を流すため、医用電気機器の誤作動のおそれがある。]

・心臓ペースメーカーなどの植え込み型医用電子機器

【形状・構造及び原理等】

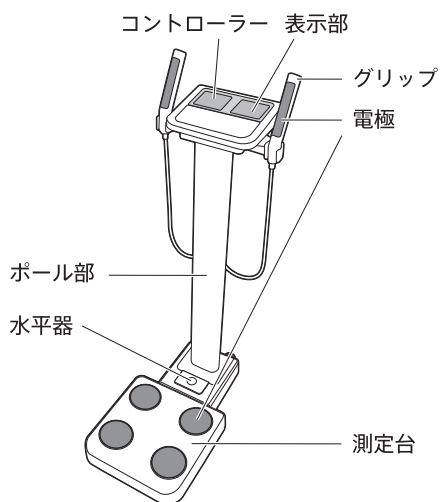
1. 構成

本体

付属品：ACアダプター、ACコード、プラスドライバー、SDメモリーカード

2. 形状・構造

本体



3. 体に接触する部分の原材料

ABS樹脂、TPE、ステンレス鋼

4. 原理

生体体内の組成成分には、それぞれ異なる電気的特性があり、一般に水分を多く含む筋肉組織などでは電流が流れやすく、水分をほとんど含まない脂肪組織では電流が流れにくいという性質を持っている。この装置は多周波数の電流を用いたBIA(生体電気インピーダンス)法による測定で、体水分量、除脂肪組織量、筋肉量、脂肪量等を算出し、体内の組成成分の評価を行うものである。

5. 電氣的定格等

- ・定格電源電圧：100～240V
- ・定格周波数：50/60Hz
- ・定格消費電力：30VA
- ・電撃に対する保護の形式：クラスII機器
- ・電撃に対する保護の程度による装着部の分類：BF形装着部

6. 使用条件

- ・温度：5～35℃
- ・湿度：30～80% (結露なきこと)
- ・大気圧：86～106kPa (高度≦2000m)

【使用目的又は効果】

身体の水分量、筋肉量等を測定すること。

【使用方法等】

- (1)ACアダプターを本体と接続し、操作部で本体の電源を入れる。
- (2)必要に応じて、取扱説明書に従い環境設定や個人情報の入力を行う。
- (3)素足の被測定者を足電極の上に正しく立たせ、体重を測定する。
- (4)グリップを握り、体組成の測定を開始する。
- (5)測定結果が表示部に表示される。必要に応じて外部機器等にデータを出力する。
- (6)被測定者を測定台から降ろし、本体の電源を切る。

【使用上の注意】

- ・詳細については取扱説明書を必ず読むこと。
- 1.使用上の注意(次の患者の測定には注意すること)
金属アレルギーのある患者
 - 2.重要な基本的注意
 - (1)感電、火災、漏電のおそれがあるため、ぬれた手でプラグを抜き差ししないこと。
 - (2)感電やけがのおそれがあり、精度の保証ができないため、分解や改造は絶対にしないこと。
 - (3)可燃性のガス中や酸素濃度の高い環境に置かないこと。
 - (4)火災のおそれがあるため、タコ足配線をしないこと。
 - (5)感染防止のため、本機に直接触れる部位に傷や炎症がある方は使用しないこと。
 - (6)磁気の影響を受けやすい機器を本機の近くで使用しないこと。
 - (7)長期間使用しない場合は、電源をOFFにし、コンセントからACコードを抜くこと。
 - (8)使用する前に正常かつ安全に作動することを確認すること。

【保管方法及び有効期間等】

- 1.貯蔵・保管環境
 - ・温度：-10～50℃
 - ・湿度：10～90% (結露なきこと)
 - 大気圧：70～106kPa (高度≦2000m)
- 2.保管方法
 - ・振動の激しい場所に保管しないこと。
 - ・湿気やほこりの多い場所に保管しないこと。
 - ・規定の温度、湿度、大気圧範囲外の場所に保管しないこと。
 - ・塩分・イオウ分などを含んだ空気などにより、悪影響を生ずるおそれのない場所に保管すること。
- 3.耐用期間
7年(当社データによる自己認証)

【保守・点検に係る事項】

- 1.業者による保守点検事項
業者に委託する保守点検は定期的に依頼すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元：株式会社タニタ秋田
(連絡先：タニタお客様サービス相談室)
電話番号：0120-133821
：0570-783551(携帯電話用)
製造元：株式会社タニタ